

【編集後記】「フェーズフリー」

防災において、日常と非日常を切り分けないフェーズフリーという考え方が広がっていると聞く。身の回りにある物やサービスを日常のみならず、災害時にも役立てようとする発想で、例えば撥水機能のある買い物バッグをバケツとして利用したり、袋状になった裏地にジャケットを収納して首枕にする、といった具合である。ハード面でも一次避難所となる公園の周囲に並木を植えて住宅地域からの延焼を防ぐ、炊き出し用のかまどになるベンチを備えるなどの試みがなされている。学校教育での普及を図るため、フェーズフリーのアイデアコンテストの発表会を中学校で実施した市もあるという。防災を、特別な、非日常的なものではなく、身近な、日頃の自分事としてとらえる視点から、身の回りの物の利活用や製品の開発、施設整備などに取り組みば、「次世代型防災」とも言うべき新たなステージが開けるのではなかろうか。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2023年12月号（通巻53号）

- 発行日 令和5年12月15日
- 発行所 一般財団法人日本防火・防災協会
- 編集発行人 高尾 和彦
- 〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19（ヤクルトビル内）
TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851
URL <https://www.n-bouka.or.jp>
- 編集協力 近代消防社